

1 学期終業式における講話要旨

令和4年7月22日(金)

茶内小学校体育館

皆さん、おはようございます。

今日で1学期が終わりますね。4月7日に始業式を行ってから、もう3か月以上が経ったことになります。何日学校に来たか分かりますか。71日間です。長く感じましたか。それとも、短く感じましたか。長く感じた人は、辛いことや苦しいことがあったのかもしれませんが。それでも1学期終業式に参加しています。とても立派なことです。短く感じた人は、充実した毎日を過ごしたのかもしれませんが。とても素敵なことです。

校長として1学期を振り返って、一番嬉しかったことは、皆さんが大きな病気や怪我をすることなく、学校に来てくれたことです。新型コロナウイルス感染症は未だ終息していません。そして、ウクライナという国では戦争によって、皆さんと同じ年の子どもたちが、毎日悲しい思いをしています。先が見通せない難しい時代を皆さんは生きています。そんな中で、こうして皆さんは1学期終業式に参加しています。これは、「奇跡」と言ってもよいのかもしれませんがね。

さて、いよいよ明日から夏休みが始まります。今、皆さんは夏休みが楽しみで、楽しみで仕方ないと思います。夏休みになったら何をしようかなと、わくわくしている人もいるでしょう。夏休みになったらどこかに旅行に行く予定のある人もいるでしょう。どんな自由研究をしようか

と、いろいろ計画を練っている人もいるでしょうね。

皆さんの夏休みが、豊かな夏休みになることを校長先生は願っています。そこで夏休みを前に、1つお話をします。

計算式を紹介します。「 $24 \times 26 = 624$ 」、これは何を求める計算式かわかりますか。高学年の皆さんは気付いたと思いますが、「皆さんが夏休みとして過ごせる時間は、『624 時間』ですよ」ということを表しています。時間は誰にも平等に与えられます。その与えられた時間をどのように過ごすかで、豊かな夏休みになるのか、残念な夏休みになるのかが決まります。皆さんには、豊かな夏休みを過ごしてほしいので、校長先生から2つお願いがあります。

1つ目は、「夏休みの目標を決めてください」というお願いです。つまり、「夏休みの最終日には、こんな自分になっている」という624時間後の自分の姿を決めてください。そして、それを実現するために、勉強、スポーツ、読書、料理、楽器演奏など、何でもよいので「これだけは頑張る」ということを1つ決めて、挑戦してほしいと思います。日々、向上していく自分を実感することで、自分のよさを見付けてください。

2つ目は、「家族のために何ができるか考え行動する」というお願いです。夏休み中、家族の人たちが働く姿や様子を見たり聞いたりしてください。家族の人たちが、「暮らし」という戦い中で、皆さんのことを一生懸命に守ってくれているということが分かると思います。そんな家族の

人たちを笑顔にすることに取り組んでください。仕事や家事の手伝い、自分から進んで勉強する、規則正しい生活をするなど、624 時間の中の 1 時間でも 2 時間でもよいので、「家族のために」という気持ちをもって取り組んでください。家族の人たちの笑顔が見られたら、役立つことの喜びを感じることができます。

「624 時間」を、自分のために、そして、家族のために大切に使ってください。夏休みは、皆さんが未来社会で活躍できる力を育む大きなチャンスでもあります。

皆さんがこの夏休みを有意義に過ごして、2 学期には新しい力を身に付けてますます立派になって登校することを、校長先生は今からとても楽しみにしています。

最後に、もう 1 つ大事なお話をします。2 学期に皆さんがますます立派になった姿を見せてくれるためには、夏休みを病気や怪我をしないで、事故にも遭わないで、安全に健康に過ごさなければなりません。

特に、現在は新型コロナウイルス感染症の「第 7 波」とも言われています。

「自分の命は自分で守る」、これはいつも頭に入れておいてくださいね。

それでは、2 学期にまた会いましょう。